情報リテラシー

2009年度前期
九州産業大学情報科学部

情報リテラシーの前に

- 履修登録が済んでいない科目でも、履修予定の講義には出席すること
- 今日の3時間目は英語I　なので出席すること

今日の予定

- アンケート
- 科目紹介
- 貸与PCの配布
- PCの基本操作実習

アンケート

- 今後の講義の参考にするための、皆さんの情報リテラシー能力についてのアンケート
- 回答結果は成績などには一切関係しないので正直に回答してください
  - 最後の自由記述も、ぜひ何か書いてください
- 今日の出欠確認を兼ねています
  - 記名を忘れないように

科目紹介
情報リテラシー

科目情報

- 科目名：情報リテラシー
- 対象クラス：1年 a, b, cクラス
- 期間：前期（講義14回）
- 単位数：2単位
- 必修科目
- 履修条件：なし

講義の進め方

- 最初の15分間は小テストを実施する
  - 出題範囲は前回の講義内容
    - 毎回の講義の内容が理解できなかったときには、必ず復習を行う
  - 小テストの際、手書きノートは見ても良い
- 原則として講義のみを行う
  - 講義内容は、各自手書きノートに記録する
  - 実技・演習は「情報リテラシー演習」の時間に行う

出席について

- 出席回数が3分の2に満たない者は原則として単位の修得はできない
  （九州産業大学情報科学部授業科目履修規定第32条より）
- 遅刻は2分の1回出席とする
  - 講義の始めの小テスト開始前に来ていれば出席
  - 小テスト中に来た場合遅刻
  - 小テスト後に来た場合欠席

学習目標

1. コンピュータについての基礎的な事項を知っている
2. インターネットについて、仕組み、機能、使い方、課題などを知っている
3. 報告書やプレゼンテーション資料の作成方法を知っている
4. Webページの仕組み、基本的なHTML要素を知っている
5. プログラミングの基礎的な事項を知っている

評価基準

- 科目全体の基準
  - 秀（S）：1～5を満たす
  - 優（A）：1～2の両方を満たし、さらに3～5の中のいずれか二つを満たす
  - 良（B）：1～2の両方を満たし、さらに3～5の中のいずれか一つを満たす
  - 可（C）：1～2の両方を満たす

評価方法

- 1～5の学習・教育目標のそれぞれについて、以下のような判定を行う.

1. 第1，2，5＆6回小テストのうち，2つ以上に合格する.
2. 第3，4，7回小テストのうち，2つ以上に合格する.
3. 第8，9回小テスト，情報リテラシー演習課題の「調査研究報告書」のうち，2つ以上に合格する.
4. 第10，11回小テスト，情報リテラシー演習課題の「調査研究報告書に関するウェブページの製作」のうち，2つ以上に合格する.
5. 第12，13回小テストともに合格する.

小テストの再テストについて

- ある程度の小テストが不合格だと、自動的に「不可」になる
- 14回目の講義で、小テストの再テストを行う
- ただし、14回分受験できるわけではない
- 毎回の試験は、ちゃんと合格するように
- 途中で不合格が続いてもあきらめない！

講義計画

- 第1回(2009/ 4/ 7)
  - ガイダンス
- 第2回(2009/ 4/14)
  - コンピュータとは？
- 第3回(2009/ 4/21)
  - インターネットの利用(1)
- 第4回(2009/ 4/28)
  - インターネットの利用(2)
- 第5回(2009/ 5/12)
  - 情報社会の犯罪とセキュリティ(1)
- 第6回(2009/ 5/19)
  - 情報社会の犯罪とセキュリティ(2)
- 第7回(2009/ 5/26)
  - デジタル情報の保護

講義計画

- 第8回(2009/ 6/ 2)
  - 調査研究の流れとコンピュータ利用(1)
- 第9回(2009/ 6/ 9)
  - 調査研究の流れとコンピュータ利用(2)
- 第10回(2009/ 6/16)
  - ウェブページ製作の知識(1)
- 第11回(2009/ 6/23)
  - ウェブページ製作の知識(2)
- 第12回(2009/ 6/30)
  - プログラミング入門(1)
- 第13回(2009/ 7/ 7)
  - プログラミング入門(2)
- 第14回(2009/ 7/14)
  - まとめ

教科書

- 明解Java入門編
  - 柴田望洋　著
  - ソフトバンククリエイティブ
  - ISBN 978-4-7933-3953-6
  - 2730円
- 情報リテラシー・演習では12回目以降の講義で利用
- プログラミング基礎(1年後期)、データ構造とアルゴリズムI(2年前期)でも利用

科目紹介
情報リテラシー演習

科目情報

- 科目名：情報リテラシー演習
- 対象クラス：1年 a, b, cクラス
- 期間：前期(講義14回)
- 単位数：2単位
- 選択科目
- 履修条件：なし

授業の進め方

- 演習を中心に進める
  - 知っていることでも、復習のつもりでやってみる
  - わからないことは積極的に質問する
  - 最初につまづくと追いつくのがたいへんになる
  - わからないことがあったら、遅くとも翌週までには解決しておく

出席について

- 出席回数が3分の2に満たない者は原則として単位の修得はできない
  （九州産業大学情報科学部授業科目履修規定第32条より）
- 遅刻は2分の1回出席とする
  - 出席メールを提出したら出席
  - ICカードによる出席登録もすること
  - ただし、電子メールの使い方の説明（3回目）より前は、ICカードのデータのみを利用

学習目標

1. コンピュータの基本操作（ Webブラウザや電子メールが使えることを含む）ができる
2. 報告書やプレゼンテーション資料を作成できる
3. Webページを作成できる
4. プログラミングのための基本操作ができる

評価基準

- 秀（S）：1～4を満たす
- 優（A）：1を満たし、さらに2～4のいずれか二つを満たす
- 良（B）：1を満たし、さらに2～4のいずれか一つを満たす
- 可（C）：1を満たす

評価方法

- 以下の4つの課題により、1～4の学習・教育目標のそれぞれについて、以下のような判定を行う

a. インターネットを利用した調査研究テーマの決定とその電子メイルによる報告
b. 調査研究報告書の作成
c. 調査研究報告書に関するウェブページの製作
d. Javaプログラムの作成

- 学習・教育目標のそれぞれについての判定基準

1. a, b, c, d の2つ以上に合格
2. b が「良」以上で合格
3. c が「良」以上で合格
4. d が「良」以上で合格

レポートの提出について

- レポートは3種類
  - 調査報告書
  - Webページ作成
  - Javaプログラム
- 各課題、提出回数は3回まで
  - 1回目で合格：優
  - 2回目で合格：良
  - 3回目で合格：可
  - 3回目でも不合格：不可

演習計画

- 第1回（2009/ 4/ 7）
  - ノートパソコンの設定
- 第2回（2009/ 4/14）
  - コンピュータの基本操作
- 第3回（2009/ 4/21）
  - インターネットの利用（1）
- 第4回（2009/ 4/28）
  - インターネットの利用（2）
- 第5回（2009/ 5/12）
  - 調査報告書の作成（1）
- 第6回（2009/ 5/19）
  - 調査報告書の作成（2）
- 第7回（2009/ 5/26）
  - 調査報告書の作成（3）
- 第8回（2009/ 6/ 2）
  - 調査報告書の作成（4）

演習計画

- 第 9回(2009/ 6/ 9)
  - 調査報告書の作成(5)
- 第10回(2009/ 6/16)
  - 調査報告書の作成(6)
- 第11回(2009/ 6/23)
  - 調査報告書の作成(7)
- 第12回(2009/ 6/30)
  - 調査報告書の作成(8)
- 第13回(2009/ 7/ 7)
  - プログラミング入門(1)
- 第14回(2009/ 7/14)
  - プログラミング入門(2)

実習助手・TA

- 実習助手
  - ａクラス：神屋　郁子
  - ｂクラス：伊藤　隆浩
  - ｃクラス：福原　秀明
- ＴＡ
  - ａクラス：長田　総
  - ｂクラス：嶋村　翔
  - ｃクラス：本村　隆典

貸与PCの配布

ノートパソコンの初期設定と動作確認

貸与PCについて

- 4年間、大学が皆さんに貸与
  - 貸与されたPCを4年間、専用に利用
  - 4年後には、安価(1万円以下)で販売
- 故障した場合にはある程度までは保険でカバーされる
  - 故意の故障と判断された場合、保険非適用の可能性あり
- 大事に利用してください
- 少なくともPCを使う講義がある日は持ってくる
- 自宅でも自習などに自由に使って下さい

貸与PC用ロッカーについて

- PC InfoSquare と 3階に設置
  - 3階のロッカーは現在調整中で利用不可
- スポーツ科学演習の際などの一時保管用
- 大学に置いて帰るための施設ではない
- 目的外利用が多い場合、ロッカーを利用禁止にする可能性あり

貸与PCの改造について

- 周辺機器の接続は自由
- ただし、返却時には元の状態に戻す必要あり
- メモリは増設可能(最大2GB x 2)
  - ただし装着済みのメモリ(1GB x 2)との交換
- 詳細はサポートセンター(12号館1階 InfoSquare)で相談してください

配布にあたっての注意

- 誓約書と交換で貸与します
  - 今日、誓約書を忘れた学生は、後日サポートセンター（情報科学部1階）で受け取ってください
- 各自に配布するPCのシリアル番号の調査をします
- 箱は学内で捨てずに自宅まで持ち帰ること

貸与PCを利用する主な講義

- 情報リテラシー・情報リテラシー演習
  - 火曜日1・2時間目
- 情報科学序説
  - 月曜日3時間目（毎回ではない）
- 基礎ゼミナール（情報科学基礎演習I）
  - 月曜日4時間目
- 来週の月曜日も貸与PCを忘れないこと

PC配布

- 配布物は1つ
  - PC本体
- まだ箱は開けない
- 箱の横に学籍番号を書く
  - 皆、同じ物を持っているので間違わないように

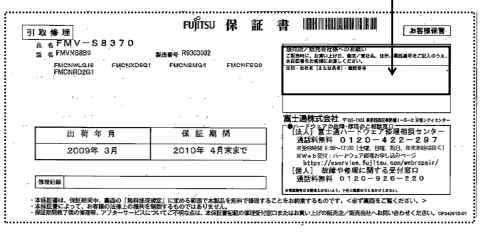
中身の確認

シリアル番号の確認

- PC本体のシリアル番号を記録します
  - 保険の取り扱いのために必要
- 保証書に、氏名と学籍番号を書いて提出

保証書の回収

氏名・学籍番号を記入



貸与PCの仕様

説明していない用語がでてきます
意味が分からなくても心配は不要です

貸与PCの仕様（1）：意味が分からなくても問題ありません
ハードウェア

- プロセッサ
  - Intel Core2Duo T8100 2.1GHz
- 主記憶装置
  - 2GB
- 補助記憶装置
  - HDD 160GB
  - スーパーマルチドライブ（DVD±R DL（2層）書き込み対応）
- 入力装置
  - キーボード、タッチパッド
- 出力装置
  - ディスプレイ（1280×800, 32bit full color）、スピーカー

貸与PCの仕様（2）：意味が分からなくても問題ありません
主なソフトウェア

- Windows Vista Home Basic
- Microsoft Office Personal 2007 with PowerPoint2007（Word / Excel等）
- OpenOffice.org 3.0
- Mozilla Firefox
- CIEC TypingClub
- TeraPad
- WinSCP
- Adobe Reader 9
- F-Secure クライアント セキュリティ

PCの基本操作実習

Windowsの基本操作
タッチタイピングの練習（1）

今日の演習内容

- Windowsの基本操作
  - PCの起動・終了など
  - アプリケーションソフトの起動・終了
- タッチタイピングの練習（1）
  - CIEC TypingClub

Windows の基本操作

- Windowsの開始と終了
  - 貸与PC利用の手引き
- インターネットにはまだ繋がない
  - LANケーブルは未接続で操作

ウェブブラウザの利用法

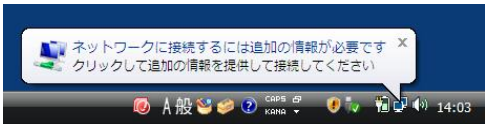
いわゆる「インターネット」の使い方

LANへの接続

- 基本的にはPCと机等のコネクタをLANケーブルで接続
- 自宅でもブロードバンドルータなどを持っている場合は同様に利用可能
- 情報科学部ではLANの利用時に認証が必要
  - 利用する権利を持っている人だけが利用可能
  - 通りすがりの人は利用不可能

認証（その1）

- LANケーブルを繋ぐとダイアログが出る



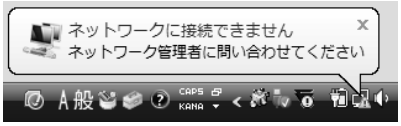
- このポップアップをクリックする
- 消えてしまった場合には、再度 LANケーブルを抜き差しすると良い

認証（その2）

- ユーザ名とパスワードを入力
- ユーザ名：”k” + 学籍番号 JK は小文字
  - 例：k09jk150 （学籍番号 09JK150の学生）
- パスワード：KsTTTTMMDD
  - Ks は、大文字の K、小文字のs
  - TTTT は保護者の電話番号下4桁
  - MM は生年月日の月2桁
  - DDは生年月日の日2桁
- ログオンドメインは空白

認証（その3）

- 認証に失敗すると以下のポップアップが出る



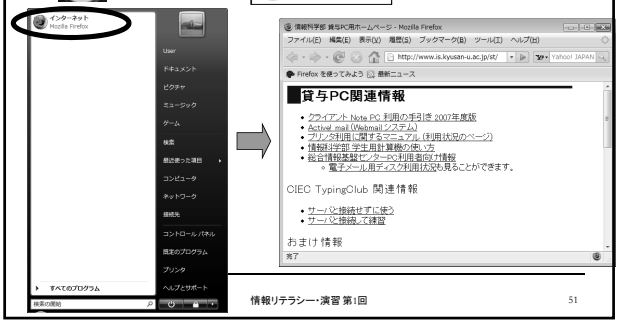
- このポップアップが出なければ認証成功

認証（その4）

- 一度、ユーザ名・パスワードを入力すると次回からは入力の必要なし
  - PCが記憶する
- パスワードを変更すると、再度入力を促される
- パスワードの変更方法は次回以降

ウェブブラウザ（Firefox）の起動

- をクリック→ インターネット Mozilla Firefox を選択



認証失敗の場合

- 以下の画面が出た場合認証が失敗している
- 再度LANケーブルを抜き差ししてユーザ名・パスワードを入力

ツールバー

1. 戻る：前に表示したWebページに移動
2. 進む：次に表示したWebページに移動
3. 更新：現在のWebページの表示を更新（再読み込み）
4. 中止：Webページのダウンロードを停止
5. ホーム：ホームページに指定したWebページに移動
6. ブックマーク：ブックマークに指定したWebページの一覧を表示

ウェブブラウザ（インターネット）の利用

- ウェブブラウザとインターネットの関係は第3回の講義で説明
  - 今回は区別しないでよい
- ホームページ（最初に表示されているページ）や、ブックマークから、いろいろな所を巡ってみよう
  - 「ブックマーク」は別名「お気に入り」
  1. ブックマークから「九州産業大学」を選択
  2. KSU NEWS から「新入生・編入生 英語プレイスメントテスト結果発表」を見ておこう

インターネット上の情報を検索しよう！

- 情報のありか（URI）がわかっている場合
  → ブラウザに直接URIを入力
- 情報の在りかがわからない場合
  → 検索サイト（エンジン）を利用

アドレス（URI）指定

- メニューバー下の入力欄にURIを入力

- URI については、第3回で説明するので、今は分からなくても大丈夫

検索サイト

- 検索エンジンを使って情報を探すためのWebサイト
- 検索エンジン
  - 所有する情報（データ）から検索対象を探し出すための、検索サイトが使う専用ツール

検索サイト（続き）

- 日本語検索サイトの例
  - Google (http://www.google.co.jp)
  - Yahoo! Japan (http://www.yahoo.co.jp)
  - goo (http://www.goo.ne.jp)
  - excite (http://www.excite.co.jp)
- その他の検索サイト
  - 上記検索サイトから自分で検索してみよう！

Firefox での検索の仕方

- メニューバー下の検索欄に
- キーワードを入力
- Googleを使って検索を実行する

Firefox での検索サイトの切り替え

- 検索欄左端をクリックし、使いたいサイトを選択

マニュアルの利用

とっても便利なオンラインマニュアル

マニュアルの種類

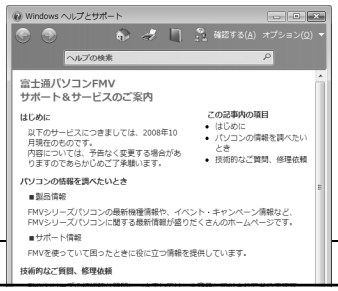
- 取扱説明書（紙）
  - 準備しよう　パソコンの準備と設定
  - いろいろな機能を使おう　パソコンを使いこなそう
  - 映像と音楽を楽しもう
- オンラインマニュアル
  - PC内のマニュアル
  - CD-ROM内のマニュアル
  - ウェブ上のマニュアル

PC内のマニュアルの例（その1）

- 日本語入力IMEのヘルプ

PC内のマニュアルの例（その2）

- Windows Vista のオンラインヘルプ
  - スタートボタン→ ヘルプとサポート



PC内のマニュアルの例（その3）

- Microsoft Wordのヘルプ
  メニューバー内の をクリック

インターネット上のマニュアル

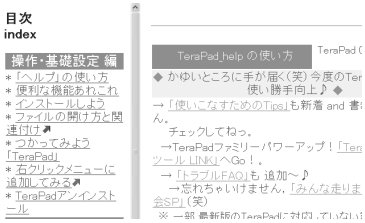
- メーカーのウェブサイトに掲載されていることが多い
- Webブラウザと検索サイトを利用
  - キーワード検索：調べたい言葉を入力

インターネット上のマニュアルの例（その1）

- →「すべてのプログラム」→「FMVマニュアル」

インターネット上のマニュアルの例（その2）

- TeraPadのオンラインヘルプ
  - ヘルプ → オンラインヘルプ



トラブル時の対処法

- トラブルの例
  - マウス操作を受け付けない
  - キーボード操作を受け付けない
- 対処法
  - Ctrl、Alt、Delete の3つのキーを同時に押す
  → タスクマネージャの起動(T)
  →「アプリケーション」を選択
  →問題の生じた（応答のない）アプリケーションを終了
  動作がおかしくなっても、すぐに電源ボタンを押さない！

インストール済
アプリケーションについて

アプリケーションソフトウェアの例

- Webブラウザ
  - Firefox
  - Internet Explorer
- 電子メールソフト
  - Thunderbird
  - Windowsメール、Outlook 2007（使用禁止）
- ウイルス対策ソフト
  - F-Secure Client Security

アプリケーションソフトウェアの例

- テキストエディター
  - TeraPad
  - メモ帳
- 文書作成
  - Word 2007
- 表計算
  - Excel 2007
- プレゼンテーション（発表）
  - PowerPoint 2007
- タッチタイピング練習
  - CIEC TypingClub

貸与PCを利用する主な講義（1年生前期）

- 情報リテラシー・情報リテラシー演習
  - 火曜日1・2時間目
- 情報科学序説
  - 月曜日3時間目 （貸与PCを使わない回もある）
- 基礎ゼミナール（情報科学基礎演習I）
  - 月曜日4時間目
- 来週の月曜日も貸与PCを忘れないこと

タッチタイピングの練習（1）

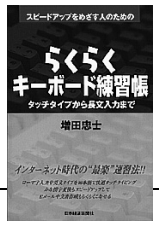
タッチタイピングはぜひマスター
しよう！

タッチタイピング

- PCの利用効率が飛躍的に向上
- 95%の人は、タッチタイプを習得できる！
- 市販の多くのタイピングソフトは、タッチタイプ練習用ではないので注意
  - 既にタッチタイプできる人が、遊ぶためのもの

タッチタイプはぜひ覚えよう

- 参考書
  - 「スピードアップをめざす人のためのらくらくキーボード練習帳」
    - 増田 忠士
    - 日本経済新聞社
    - 2000年7月発売
    - ISBN 4-532-40178-X
    - 定価 1260円（税込）



CIEC TypingClub

- 増田式練習法
- スコアを皆で競争できる
- ネットワークにつながっていなくても練習可能

CIEC TypingClubの起動

- 「スタート」→「すべてのプログラム」→「CIEC TypingClub」→「CIEC TypingClub」

- 『「タイピング練習の基本」を見る』をクリック

タイピング練習の基本

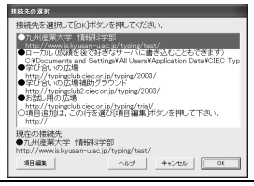
- 姿勢は重要
- でも、あまりこだわり過ぎると、先に進めないので、まぁ、それなりに
- ホームポジションは基本中の基本
- やってるうちに覚えるので、あまり気にしないでも大丈夫

練習テキストの使い方

- Typing Club には、練習用テキストがいくつか用意されている
- ここの説明は、一通り読んでおこう

練習の進め方

- その説明の前に、サーバに利用者登録
- CIEC TypingClub をもう一度起動
- 『CIEC TypingClubで練習を始める』をクリック

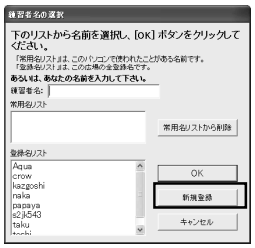


接続先の選択

- 「九州産業大学　情報科学部」が青く反転している状態で、「OK」をクリック
  - ネットワークにつながっていないときには、2番目の「ローカル（成績を後で好きなサーバに書き込むこともできます）」を選択

練習者名の選択

- 「新規登録」をクリック



名前の登録

- 入力欄に学籍番号（09JK???)を入力
- 「OK」をクリック

パスワードの入力

- パスワードを入力
- PCのパスワードとは別のほうが良い
  - でも、忘れそうなら同じものでも・・・
- 「＊」が表示されるのは正しい動作
- 「OK」をクリック

パスワードの入力（もう一度）

- 間違いがないように、再度、先ほどと同じパスワードを入力
- 今度も「＊」が表示される
- 「OK」をクリック

所属の入力

- 「スキップ」をクリック

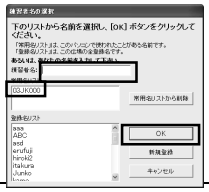
- これで、利用者登録終了

登録終了

- 「名前の登録のみ」をクリック

練習開始

- 次回からは、接続先を選ぶとこの画面が出る
- 「常用者名」の自分の学籍番号をクリック
- 「練習者名」に自分の学籍番号が入力される
- 「OK」をクリック



パスワードの入力

- 先ほど登録したパスワードを入力
- 「OK」をクリック

- この画面が出たら「OK」を押して、パスワードの入力しなおし →

TypingClub 起動画面

改めて、練習の進め方

- 「テキストの選択」を押して、どのようなテキストがあるか確認してみる
- まずは、「ホームポジション体操」
- これは毎日やる！
- 最低5回、しかし、長くても30分以内
- 「スペース」キーを押すと練習開始
- 間違った文字は消さなくても良い

練習の進め方続き

- 「ホームポジション体操」を終えたら、「ローマ字入力（1）」
  - 日本語の入力が速くなる
  - 英語入力の基礎にもなる
- どんどん続けていくと、「ローマ字入力（1）」が終わる
- 終わったら、「練習中断」を押して、今度は「ローマ字入力（2）」を選択

練習の仕方続き

- この調子で、「ローマ字入力（7）」まで進む
- 2時間がんばってみよう！

- 続きは、TypingClub 起動時に選択できる『「タイピング練習の基本」を見る』から、『練習の進め方』を読んで練習を進めよう